

足クサバイバイ

～この臭いどこから？～

施設名：沖縄県 介護老人保健施設 中城苑

発表者：中村 優子

比嘉 静香 安里雅史

新垣 めぐみ 大城 朝子

【はじめに】

日常、介護していく中で、ある事に気づく。ある特定者の履物が臭いということ・・・履物は介護者が判断して洗浄している。しかし何人かの利用者は、履物を洗浄しても臭いは中々とれず入浴前、履物を脱ぐと悪臭を放つ方も出始めた。悪臭の原因としては、水虫・尿もれ・発汗などで汚染している事などが考えられる。今回、対象者を8人選んで取り組んだ事を報告する。

【目標】

足の清潔を保ち、利用者に快適に過ごしてもらう

<水虫の原因>

水虫は皮膚に水虫菌、(水虫菌はカビの一種で白癬菌とも言う。足の水虫=足白癬)その菌が寄生し、かゆみなどの症状を起こす病気のこと。対象者は、趾間型が多かった。

<むくみ(浮腫)>

血液の流れが滞ると水分が血管に戻れなくなった状態。

<実施内容>

足のむくみを取り除きながら、水虫を治せば足の清潔を保つことができると私達は考え、以下の取り組みを行う。

期間：9月1日～継続中

履物の変更

ベッド臥床・下肢挙上

13:00～14:30迄

足浴とフットマッサージの実施

15:00～15:30の10分程度

【結果】

9月1日から実施して、2ヶ月間の内に水虫に関しては、完全完治ではないが、大幅に改善されている。足趾のジュークジューク感は無くなり、特に水虫による悪臭はしなくなった。

むくみに関しては、下肢を2時間程挙上することにより、改善は見られるが、座位の姿勢に戻ると、元の状態になってしまった。しかし少しの時間でも足趾のむくみが取れ、通気性を上げることが水虫の軽減に繋がったと思う。精神的な部分として、不穏のある方が、足浴することにより穏やかな表情になり、機嫌もよく精神安定につながることができた。

失敗例としては、ゾウリを装着後、足趾第1趾と第2趾の間に傷をつけてしまう方がいて症状を悪化させてしまうことがあった。

むくみ改善の為にベッド臥床したが、顔面がむくんでしまったり、仙骨部の発赤・剥離が出やすくなったりする方もいた。

【まとめ・考察】

今まで水虫=看護処置だと思っていたが、今回の取り組みで毎日の足浴・洗浄、六一〇ハップ浴で大体改善できる事がわかった。むくみも、ベッド臥床、下肢挙上を短時間でも行なえば、水虫予防ができる。介護と看護お互いの知識を共有し合っ
て連携すれば、薬のいらぬ処置ができると思う。